



PARADOX
Yukinori TOKORO

GALLERY 21
KLEE INC PARIS TOKYO

所幸則写真展「パラドックス」

2010年3月30日 - 5月30日 GALLERY 21

「時とともに生きようと思う者は、時とともに走らねばならない」

—ヒルティ『幸福論』

「時間は私の本質である。時間は私を押し流す川だが、その川こそが私である」

—ホルヘ・ルイス・ボルヘス

写真の中に流れる時間をかくも明確に、しかも美学的なアプローチで表現した写真家がいただろうか？とどまることのない生命運動の軌跡を、不規則に増殖する都市空間の変貌を、対象物たちを一切拘束することなく、コントロールする術を TOKORO は心得ている。

円形空間の中に TOKORO が見つめる“現代の時間”の姿が現れる。

所の代表作とも言える One Second -SHIBUYA-を中心に、他都市で撮影された新作と、One Second を実証的に表現した Koshino Hiroko とのコラボレーション作品が展示される。

| アーティストプロフィール |

所幸則 Yukinori TOKORO

1961年生まれ。写真ならではのアプローチで、イメージングを追求してきた作家として国内外で高い評価を受ける。全作品を通貫して流れるテーマは“生と無常”。クールなテクスチャーと独特の構成力で成立するスタイルには、写真家としての繊細な観察眼が読み取れる。情報が氾濫する現代、写真における情緒の立ち位置を見せた希有な写真家のひとりと言えるだろう。都市のランドスケープの他、ポートレートの分野でもその審美眼を遺憾なく発揮している。

| 展覧会概要 |

会場	GALLERY 21 (ギャラリー・ヴァンテアン) ホテル グランパシフィック LE DAIBA 3F 東京都港区台場 2-6-1 ゆりかもめ・台場駅正面 TEL : 03-5500-6711 開場時間: 10:00 - 20:00 会期中無休・入場無料
主催	KLEE INC PARIS TOKYO
協賛	ホテルグランパシフィック LE DAIBA
出展作品数	約 60 点

展覧会へのお問い合わせは株式会社クレイ・インクまで直接お寄せください。

〒107-0052 東京都港区赤坂 8-12-25 ミルーム乃木坂 401

担当: 岡山修平 tel : 03-5410-1277 / fax : 03-5410-1278 / email : info@klee.co.jp

One Second SHIBUYA



Curator's Comment for "One Second Shibuya"

渋谷のランドマークのような場所がそこには写されているにもかかわらず、写真が発信するメッセージは全く違うものを伝えている。ここにはあるのはクールな「写真的都市の時間の考察」、ONE SECOND というルールでしか結実しない過去から現在、そして未来へと駆け抜けていく渋谷の時間の姿とそのスピードがはっきりと写し出されている。『不思議な国のアリス』の第7章の「狂ったお茶会」のワンシーン、登場人物はアリスと野うさぎ、帽子屋とヤマメがお茶のテーブルについている。ここで帽子屋が時間のことを「It's him」(*)と呼んだことから会話はまさに不思議な時間問答になっていく。所幸則の ONE SECOND とはまさに「It's him」、彼だけが編み出した罫を使うことで、渋谷に流れる時間を捕獲してしまったようだ。

「もし君が、私と同じくらい、時間を知っているなら、それを無駄にするなんて言い方はしないだろうよ。だって、彼はね、生き物 (It's)him なんだから」(*)

太田菜穂子
GALLERY 21 キュレーター

One Second PARIS



One Second KOSHINO HIROKO

所幸則に寄せて

"人生は瞬間、瞬間の積み重ねである"

Hiroko Koshino



Model L : victoriya (DONNA) / R : alisa (Image)